

# 国際観光旅客税を財源とする 安定的な財政支援について

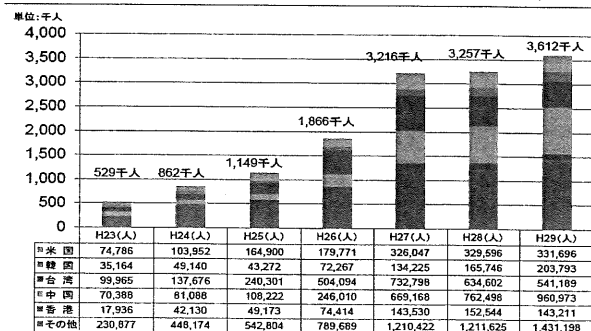
【担当省庁】国土交通省

日本を訪れる外国人観光客が今後ますます増加することが予想される中、外国人観光客等の受入基盤の一層の整備が求められているが、地域により受入基盤に係る課題は多様であり、地域の実情に応じて戦略的に整備に取り組むことが必要であることから、多言語対応や交通アクセスの改善など外国人観光客等の受入基盤の強化に係る地域の取組に対する支援として、**国際観光旅客税を財源とする地域の実情に合わせて使える交付金制度を設けて**いただきたい。

## 【現状・課題等】

- 外国人宿泊客数は、平成23年から29年にかけて約7倍に増加しており、今後とも増加が見込まれる中、受入基盤整備は喫緊の課題
  - 「地域観光資源の多言語解説整備支援事業」について、外国人観光客の増加が想定される中、地域観光資源の解説文は多言語対応していくべきであるが、対象が英語に限定されており、多言語化に対応できていない。
  - 「公共交通利用環境の革新等」の交通利用環境等の整備範囲が限定的であり、外国人観光客が訪問する先の地域内の公共交通機関の整備も対象に含める制度が必要
- 外国人観光客の受入基盤整備の主体は地域であり、地域ごとに抱える課題も千差万別であることから、地域が主体的に受入基盤強化に係る取組を推進できる仕組みの構築が必要

京都府の外国人宿泊客数



(出典) 京都府観光企画部

京都府の担当課 政策企画部 企画参事(075-414-4527)  
商工労働観光部 観光企画室(075-414-4854)

## 【国の事業等】

### ■国際観光旅客税

- ・観光先進国の実現に向けた観光基盤の拡充・強化を図るための財源を確保する観点から国際観光旅客等の出国1回につき1,000円の負担を求める。
- ・「国際観光旅客税の使途に関する基本方針等について」(平成30年12月21日)訪日外国人旅行者令和3年4,000万人の目標達成に向け、
  - ① ストレスフリーで快適に旅行できる環境の整備
  - ② 我が国の多様な魅力に関する情報の入手の容易化
  - ③ 地域固有の文化、自然等を活用した観光資源の整備等における地域での体験滞在の満足度向上 の3つの分野に観光財源を充当する。

### ■地域観光資源の多言語解説整備支援事業【観光庁】1億円

わかりやすく魅力的な多言語解説文を作成できる英語のネイティブライター等の専門人材をリスト化し、地域に派遣し解説文(英語のみ)の作成を支援。解説文作成のノウハウを蓄積し、他地域へ横展開できるようガイドラインを作成。

### ■公共交通利用環境の革新等【観光庁】5.5億円

地方部への訪日外国人旅行者の誘致加速化に向け、空港・港湾から外国人旅行者の来訪が特に多い観光地等に至るまでの公共交通機関の利用環境を刷新。

## 【京都府の取組】

### ■京都府観光総合戦略に基づく取組

- ・平成30年6月に知事を本部長とする「観光戦略総合推進本部」を設置
- ・平成31年3月に、観光関連産業を中心しつつ、あらゆる産業が観光の視点を持って成長を図る「京都府観光総合戦略」を策定したところ
- ・本戦略で「一人一人のニーズに合致した満足度の高い観光の実現」などを掲げ、7つの重点プログラムに取り組む。
  - ① 広域連携に関する取組
  - ② 「もうひとつの京都」構想の深度化と相互連携
  - ③ 観光を支える人材確保・育成
  - ④ 「京都観光」の最大の強みである文化資源を活かした地域振興と持続的な発展
  - ⑤ 観光を入り口にした、MICEをはじめとする多様な交流による産業と地域の振興
  - ⑥ 観光を支える基盤づくり
  - ⑦ マーケティングに基づく誘客活動